

# J-150S ジェットランチャーSX-R用 2輪

このたびはジェットランチャーをお買い上げいただきありがとうございます。組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。  
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

パッキングリスト 箱に入っているパーツを確認します。

番号	品番	名称	数量	税別価格/1個	税込価格/1個
1	JS301	取手パイプ J-150S&J-150-4S用	1	¥11,000	¥12,100
2	JS302	レールフレームセット、レール&エンドキャップ付	2	¥11,000	¥12,100
3	IB070120AB	44角ブラケット120mm	8	¥2,500	¥2,750
4	JL210BS	ランチャー用すべるレール 1.5M ライトブルー	2	¥2,150	¥2,365
5	Z6027	44角用エンドキャップスリット丸穴付 黒	2	¥650	¥715
6	JS303	車軸フレーム425mm 組込品J-150S用	1	¥7,700	¥8,470
7	JS304	フットパイプ425mm J-150S、J-150-4S	1	¥1,800	¥1,980
8	JS308	*車軸シャフト J-150S、J-150-4S	1	¥3,500	¥3,850
9	Z44-1	44角車軸カラー	2	¥1,200	¥1,320
	P04-6-50	SUS六角ボルト6-50	2	¥65	¥71
	P23-06	SUSフランジナットセレクト付 M6	2	¥70	¥77
10	JS306	44角スタンドパイプ400mm	2	¥1,800	¥1,980
11	JS305	44角スタンドパイプ200mm	2	¥1,200	¥1,320
12	JS304	フットパイプ425mm J-150S、J-150-4S	1	¥1,800	¥1,980
13	Z6037	プラスチックスレ止(ボルトM6-70付)	2	¥540	¥594
14	JS220-1	ジェットランチャー用ノブナットM6φ50黒+ボルトM6-70	2	¥540	¥594
15	P04-6-60	SUS六角ボルト6-60	16	¥75	¥82
15	P23-06	SUSフランジナットセレクト付 M6	16	¥70	¥77
16	P04-8-60	SUS六角ボルト8-60	12	¥90	¥99
16	P05-08	SUSスプリングワッシャー-M8	12	¥10	¥11
16	P07-08	SUSナットM8	12	¥30	¥33
16	P06-08	SUSワッシャー-M8	16	¥9	¥9
17	Z521	Dリング	2	¥250	¥275
18	TA40F	Fタイアベアリング18x9.50-8新キャップ	2	¥16,900	¥18,590
19	JL100	ランチャフック ステンレス製	1	¥1,850	¥2,035
20	JL405	ランチャー&J-2000用ロープφ8φx1.2M	1	¥500	¥550

JL210BS付 & エンドキャップ付

2番に付いています

2番に付いています

6番に組まれています

6番に組まれています

6番に組まれています

6番に組まれています

6番に組まれています



写真 新SJの場合

※ロープにつきましてはヨットや登山等で使用されています破断強度の高い物をご使用ください。

例) 外皮: ポリエステル 芯: ポリエステル

16打ち 8mm

2重に巻くとより効果的です。

■組立手順 ※組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。

① レールフレームの組立て(左右2本)

レールフレームのレール部を上にして下側に44角ブラケット120mmをナナメカット部が内側に向くように差して穴を合わせ六角ビスM6-60を差し込み反対側よりフランジナットM6で取付けます。

※取付位置は別図A参照

② 車軸フレームとフットパイプにブラケットを取付ける

車軸フレーム組込品に44角ブラケット120mmをナナメカット部が内側に向くように差込み穴を合わせますM6-60を差込み反対側よりフランジナットM6で取付けます。  
フットパイプにも44角ブラケット120mmをM6-60とフランジナットM6で取付けます。

③ 車軸フレームとフットパイプにスタンドパイプを取付ける 別図B参照

車軸フレームにスタンドパイプ200mmを差込み、フットパイプにスタンドパイプ400mmをボルトM8-60、ワッシャーM8、スプリングワッシャーM8、ナットM8で取付けます。

④ 車軸フレームとフットパイプをレールフレームセットに取付け

レールフレームセットを逆さまにして、2本平行にならべ、エンドキャップが付いている側のブラケットに車軸フレームを差込みレール中ほどに付いているブラケットにフットパイプセットを差込みます。  
ボルトM8-60、ワッシャーM8、スプリングワッシャーM8、ナットM8で取付けます。  
※スタンドパイプの上下の向きに注意してください!

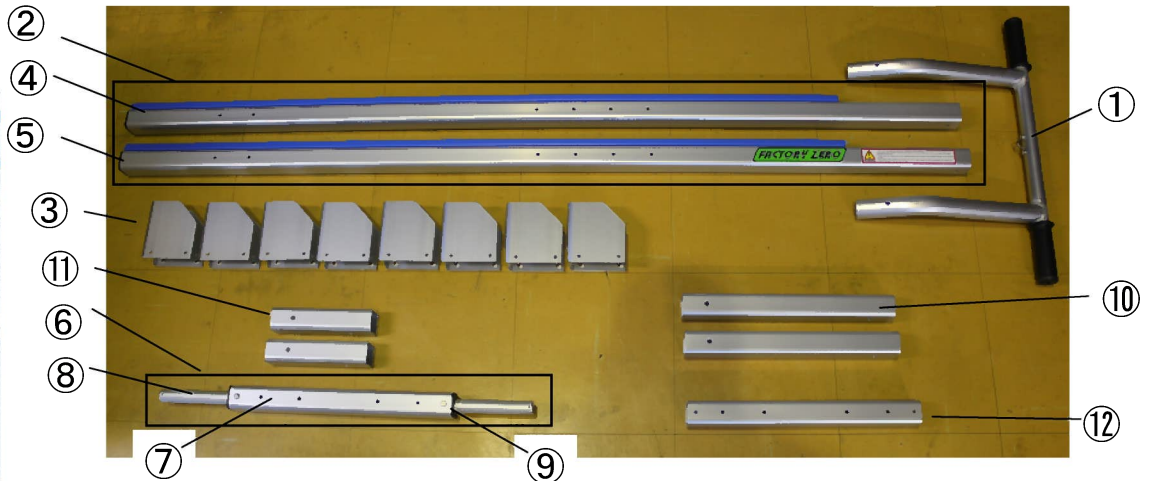
⑤ 取手パイプの取付け

レールフレームパイプの中へ取手パイプを差込みます、この時上下の向きに注意してください。  
レールフレームパイプと取手パイプの穴を合わせ、スレ止めにボルトM6-70を差込みノブナットM6φ50黒にて締めます。  
ランチャフックをロープにて取手中央へ結びます(アイストラップに直に結ばずに、アイストラップに通して必ずパイプに結んでください)  
最後にタイヤを車軸へ差込んで、抜け止めDリングを差して完了です。

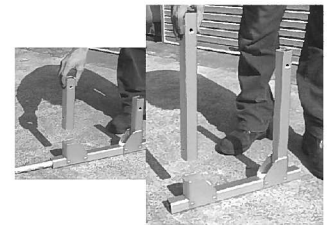
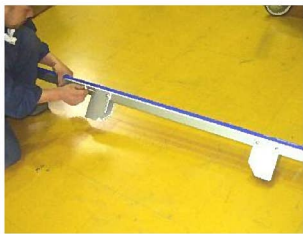
■使用上の注意

- SX-R、スパークより大きく重い艇は載せないでください。破損の原因になります。
- ジェットランチャーを使用する前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください。緩んだまま使用しますとフレーム等破損の原因になります。
- 悪路等走行する場合は前方の安全や路面状況を、よく確認してご使用ください。無理をしますとフレーム等破損の原因になります。
- 輸送時は必ずランチャフックを艇にかけてください。

# J-150S



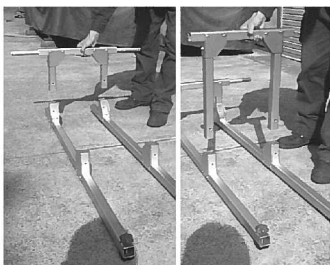
※SX-Rは800SX-Rに比べ重量が91kg重くなっています  
 移動から停止する際、重量の慣性（惰性、勢い）により過大な力が発生し危険です  
 また破損の原因にもなりますので必ずゆっくりと静かに停止してください。



① レールフレームのレール部を上にして下側に44角ブラケット120mmをナナメカット部が内側に向くように差し穴を合わせ、六角ボルトM6-60を差し込み反対側よりフランジナットM6で取付けます。  
 ※取付位置は別図A参照

② 車軸フレーム組込品に44角ブラケット120mmをナナメカット部が内側に向くように差し込み、穴を合わせます。M6-60を差し込み、反対側よりフランジナットM6で取付けます。

③ 車軸フレームにスタンドパイプ200mmを差し込み、フットパイプにスタンドパイプ400mmをボルトM8-60、スプリングワッシャーM8、ワッシャーM8、ナットM8で取付けます。  
 ※パイプの上下の向きに注意！  
 別図B参照



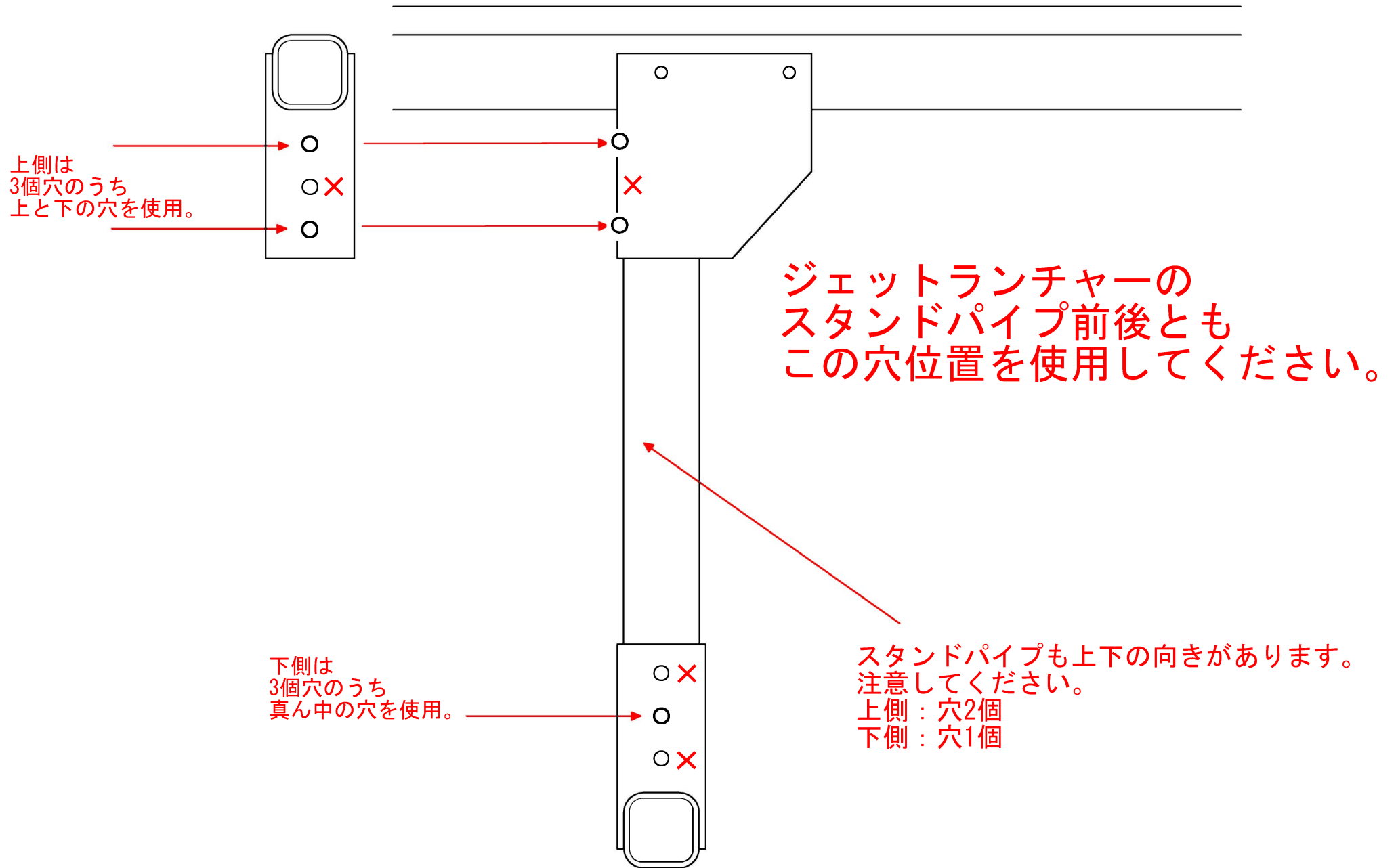
④ レールフレームセットを逆さまにして2本平行にならべ、エンドキャップが付いている側のブラケットに車軸フレームを差し込みレール中ほどに付いているブラケットにフットパイプセットを差し込みます。  
 ボルトM8-60、スプリングワッシャーM8、ナットM8で取付けます。

⑤ レールフレームパイプの中へ取手パイプを差し込みます。この時上下の向きに注意してください。レールフレームパイプと取手パイプの穴を合わせ、スレ止めにボルトM6-70を差し込みノブナットM6φ50黒にて締めます。ランチングフックをロープにて取手中央へ結びます。（アイストラップに直に結ばずにアイストラップに通して必ずパイプに結んでください）

最後にタイヤを車軸へ差込んで抜け止めDリングを差して完了です。

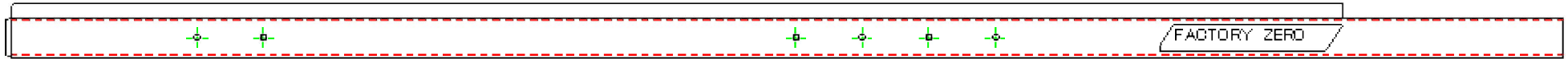
# 別図B

## <<上下のブラケットの穴位置図>>

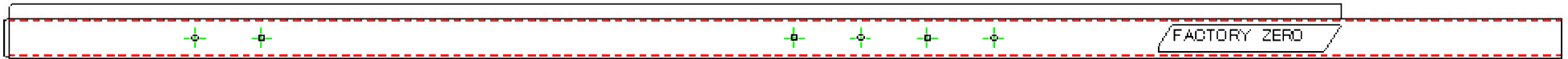
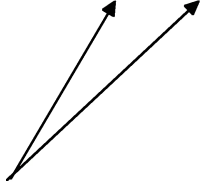


# 別図A

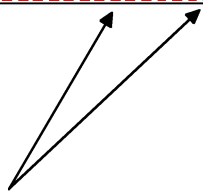
## レールフレームの図



4輪にする際はこの穴の位置にブラケットを  
付け替えてください。



2輪にする際はこの穴の位置にブラケットを  
付け替えてください。



# 取扱上の注意事項

**ご使用前に必ず熟読しお守りください！ 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。**



●段差のきつい所での走行や内輪差による後輪の衝突などに注意してください、破損の原因になります。



●坂道では十分に減速し走行してください、急な動作で艇がズれる場合がありますので注意してください。



●取っ手部での艇による手の巻きこみに注意してください。



●ジェットを水に降ろすとき、ジェットランチャーがタイヤの浮力の反動で飛び出てくる恐れがありますので注意して下さい。



●ジェットの上面に人を乗せての走行は危険ですのでおやめください。



●タイヤを車内に入れる際は0.5kgに減圧して下さい。(別途タイヤ取扱説明書を参照して下さい。)

- ご使用前には必ずボルトやネジ、リベット等のゆるみがないか確認してください。ゆるんだまま使用しますと事故、破損の原因になります。
- ジェットランチャーをご使用の際は必ず複数人にて行ってください。
- 輸送時は必ずランシングフックを艇にかけてください。
- 各ジェットランチャーの適応PWC以外は絶対に乗せないでください。破損の原因になります。
- 動力等での無理な牽引は絶対におやめください。バギーでの牽引の場合は別途オプションにてJL268 カプラーキットがございます。
- 悪路等走行する場合は前方の安全や路面状況を、よく確認してご使用ください。無理をしますとフレーム等破損の原因になります。
- 水が浸入した艇は予想以上に重量が増えていますので必ず排水してから乗せてください。
- 定期的にジェットランチャーの各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください。そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- すり減ったレールでのご使用はリベット等で船体が傷つく恐れがあります。必要に応じて交換してください。
- 艇によってはレール幅が合わずライドプレート等でフレームに傷がつく恐れがあります。
- ジェットランチャー使用時、使い方によっては艇に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。
- 長期にて保管される場合はタイヤの空気圧等を定期的にチェックしてください。
- 素手足で不用意にパイプのカット部等触れますとケガの原因となります。必ずグローブ&ブーツを着用の上ご使用下さい。
- 高い位置からの 乗せ移し(トラック荷台等)は危険です。またランチャーの破損の原因になります。
- その日の気象状況を十分に確認し、波風が強い日はご使用をおやめください。状況によっては乗せ上げの際、艇に傷がつく恐れがあります。
- 荒れた海面でのご使用はジェットランチャーが暴れますので十分にご注意ください。
- 万が一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

## タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

### TA40F/TA40G/TA40J (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

### TA40A(アルミランチャー、トランサムドローリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

### TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

### 上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPをご覧ください。

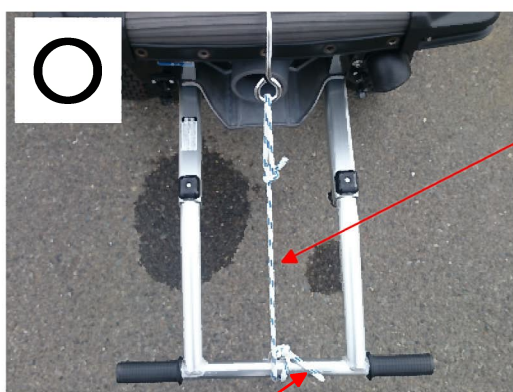
### 空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1

## KAWASAKI SX-R (4サイクル) の積載について

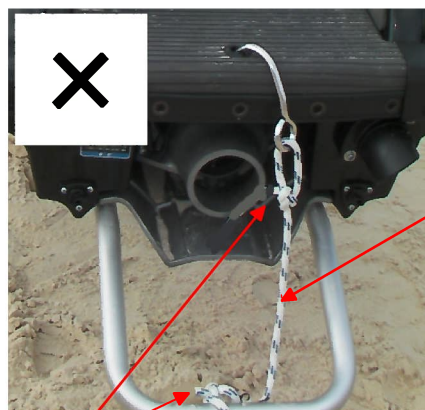
SX-Rは800SX-Rに比べ重量が91kg重くなっています。  
昔の2サイクルランナバウトクラスの重量です。  
ランナバウトのマシンを作業するイメージで  
下記に十分注意してご使用ください。

- 積載後、移動の前には必ず ランチングフックのロープは伸ばす  
ゆるんだまま取っ手を持ち上げるとマシンが勢いよくすべり  
ロープやフックに過度の負担がかかり破損の原因になります。  
またロープは必ずモヤイ結びをしロープエンドは少し余裕を  
もった長めにしてください。



伸びた状態で！

ロープエンドは長めに！



ゆるんでいて危険！

ロープエンドが短く危険！

- 積載後、移動の際 従来のスタンドアップマシンより重いため  
移動速度の慣性モーメントがより強いです。（重量物が移動！）  
移動から停止する際は十分にジェットランチャーが静止してから  
地面に降ろしてください。フレームや部品の破損の原因になります。  
特にATV等で牽引する際は注意してください。  
段差注意！ 走行最徐行！



タイヤが動いている状態で  
ジェットランチャーを地面に  
付けしないでください！

タイヤが静止したのを確認し  
ジェットランチャーを地面へ  
下ろす。

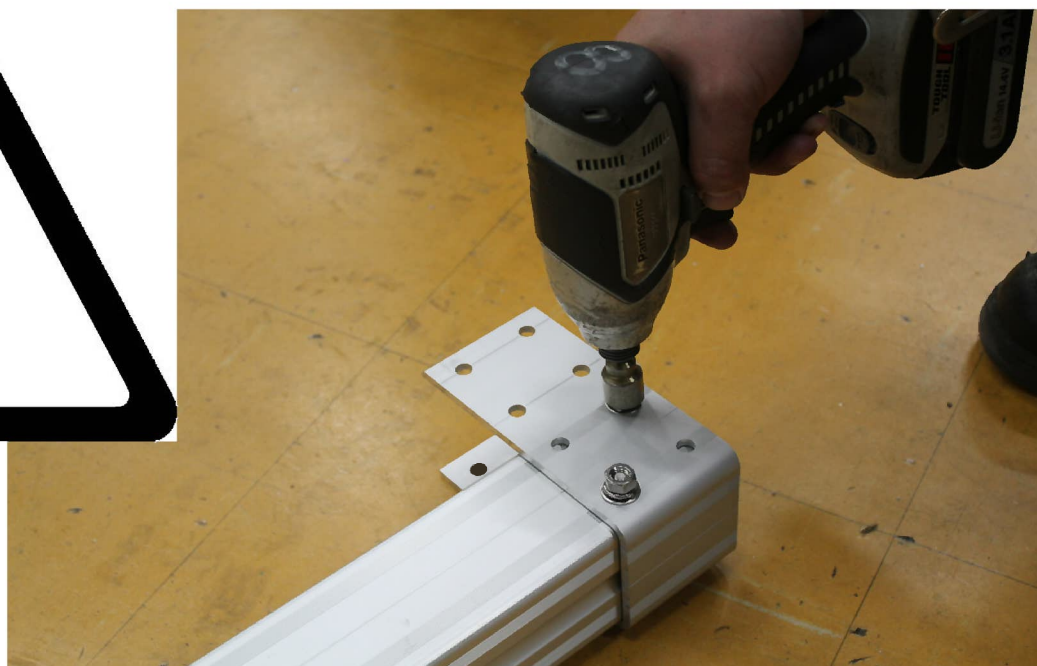
- その他、別紙「取扱の注意事項」をよく読んでご使用ください。

安心、安全なマリンレジャーライフをお楽しみください！

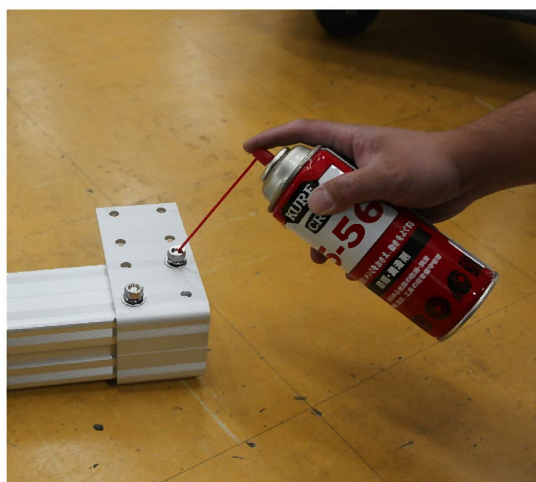
## <<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。  
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



# 急激な 締め付け注意！





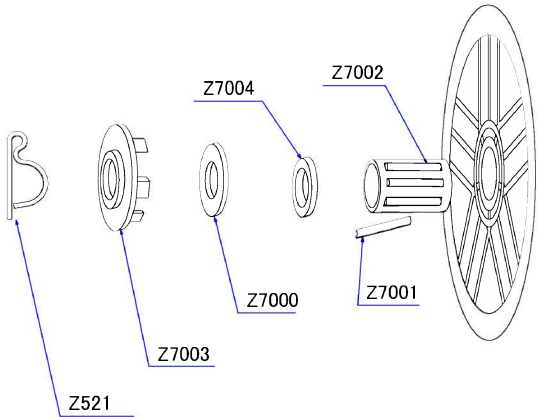
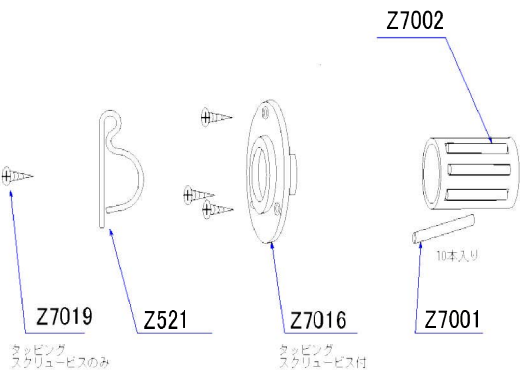


潤滑剤を塗布してください。



2018年よりTA40系のベアリングが変更になりました。

下記、相違表をご確認ください。

	旧	新
	2017年まで	2018年から
品番	TA30系	TA40系
キャップ色	ブラック	グレー
固定方法	打ち込み式	ビス止め式
キャップ		 ※適宜ゆるんでないか確認してください。
リム形状	 打ち込み式の形状です	 ※穴は2つ並んであります ビスが締め切らなくなりましたら 隣の穴をご使用ください。 ビス用の穴があります
部品図	 Z521, Z7003, Z7004, Z7000, Z7002, Z7001	 Z7019, Z521, Z7016, Z7002, Z7001 <small>※Z7019はスクリュービスのみ</small> <small>※Z7016はスクリュービス付</small>
	部品図のZ7003は TA40系には使用できません	部品図のZ7016は TA30系には使用できません